

木村奈保子の  
音のまにまに

Written By NAHOKO KIMURA

木村奈保子の音のまにまに | 第65号

## トラウマヒーローがアートになるとき

2024-03-01 ONLINE連載 エッセイ 木村奈保子

前回、この連載で取り上げた「落下の解剖学」（仏）は、第76回、カンヌ映画祭パルムドールを受賞。同時に、このとき男優賞を受賞したのが「PERFECT DAYS」（ヴィム・ベンダース監督/日・独合作）の主演、役所広司だ。

観た後、役所広司演じるHIRAYAMAの役を亡き高倉健が演じていたら、どうい映画になっていただろう、とふと思いをめぐらした。なにも語らずとも、存在するだけで、男の過去の背景が想像できる、わけがある、ピュアでストイックな人物。

さらに、ロバート・デ・ニーロだったら……？

役所広司は、上記二人に比べて、よりさっぱり感があるけれど、やはり同じ方向の男らしさをみ出しにしない、ストイックな男の美学を持ち合わせている。

どんな女性にも奥ゆかしい配慮があり、謙虚な抑制心によって僧侶のような人間性を感じさせる。どんな役を演じて、だ。

昨今の性加害ニュースがあふれるなか、役所広司演じるHIRAYAMAのようなきれいな男はいないのか、とつくづく思うだろう。

「PERFECT DAYS」は、街のトイレ掃除を仕事にした、初老の一人住みの男、HIRAYAMAの日常が描かれる。

本や布団がきちんと整えられた量の部屋で、彼は毎日やるべきことをやり、日々の小さな楽しみを見つけている。

とりわけ、往復の車の中で聞くカセットテープの音楽を聴くとき、心が躍っている。



日々の生活のまにまに、選び出す曲を、まるで自分が演奏しているかのように、慈しんでいる。本作では、ルー・リードの曲名をそのまま映画のタイトルにしているが、そのほかオーティス・レディング、ニーナ・シモンズなど選曲も洗い。

さらに映画の中では、石川さゆりが日本語で「朝日のあたる家」をうたっている。

挿入曲のリストだけでも、シネマライブ「PERFECT LIFE」ができそうだ。

そして、はずせないのが、浮浪者か幻か、田中泯の踊りが秀逸だ。

<https://s.awa.fm/playlist/5sgg3ivcrjbeppyttuws3vqqu>



「PERFECT DAYS」ベンダース監督と木村奈保子さん

さて、今月はどうしても見てほしい映画をもうひとつ。

リュック・ベッソン監督のバイオレンスアクション「DOG MAN」は、久しぶりに刺激的で熱く、怖く、めまぐるしく、えぐくて、やさしい、アーティストックな感動作。



この物語を最高のエンタテインメントにしているのは、監督以上に主演俳優の力が大きい。主演のケイレブ・ランドリー・ジョーンズは、狂気系名優でおなじみ、「ジョーカー」のホアキン・フェニックスを超える勢いで、狂気の絶頂期を迎えている。

ホアキン、40代（後半）でケイレブが30代というのに、いずれもフケ線というより、60歳くらい感じがあるときは、ひとえに芸に深みがあるからだといえよう。

トラウマを背負う男が、繊細なこころを傷つけられながらも爆発する、悲哀に満ちた顔、孤独な姿がそこにある。

主人公は、今という毒親の息子。壮絶な生い立ちで障害を持ちながら、懸命に自立を目指すも、犯罪に手を染める生活へ。

その方法が、唯一信頼できる犬たちのサポートによって、というわけだ。

動物をリスペクトしながら、こんなふうに対処する犯罪アクションがあったらどうだろうか？

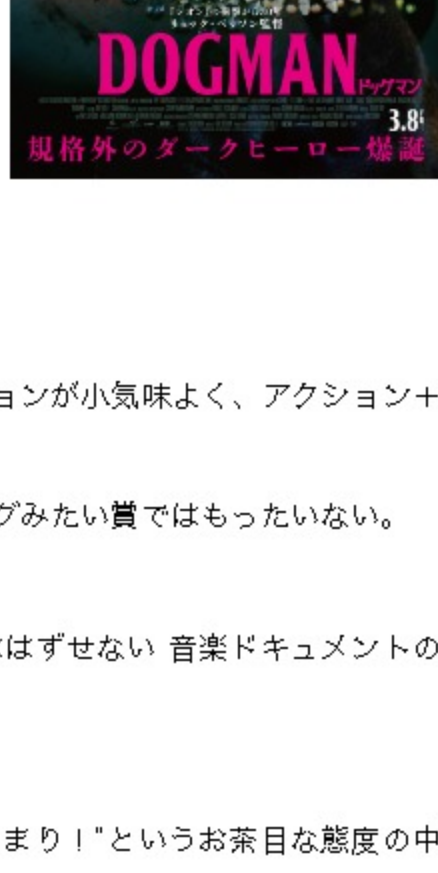
また、ケイレブが作品を通して、女装家であり、ひょんなことから歌うシーンまであり、その濃いテイストは圧巻というほかない。

本人はバンド活動もしているミュージシャンだが、尋常ではないパワーを放つ。

この歌のシーンだけでも観る価値がある。

ワイルドアクションと性的マイノリティー、そしてアートのコラボレーションが小気味よく、アクション+アートのトータルで満足できる作品ジャンルを発見できた思い。

ちなみに、カンヌではパルムドール賞ならぬ、パルムドッグ賞だ……ギャグみたい賞ではもったいない。



もうひとつ、女装のミュージシャンといえば、どうしても音楽ファンにははずせない音楽ドキュメントの最高傑作が「リトル・リチャード：アイ・アム・エヴリシング」。



「私はロックンロールの創始者よ、おだまり！」というお茶目な態度の中に、壮絶な人生が詰め込まれている。

真のロックンローラーが、ゲイなのか女装家なのか……それよりも、ビートルズもエルビスも、彼の前座に過ぎないというスターシンガーのドキュメント。

黒人が日の目を見るまでの道のりは長く、歴史は音で、その真実を語る。

## MOVIE Information

## 『PERFECT DAYS』

公開中（2023年日本/124分）

監督：ヴィム・ベンダース

脚本：ヴィム・ベンダース、高崎卓馬

出演：役所広司、柄本時生、アオイヤマダ

配給：ビターズ・エンド

公式HP：<https://www.perfectdays-movie.jp>

## 『DOG MAN』

2024年3月8日（金）新宿バルト9 ほか全国ロードショー

脚本・監督：リュック・ベッソン

出演：ケイレブ・ランドリー・ジョーンズ、ジョー・ジョー・T・ギブス、クリストファー・デナム、クレメンス・シック

2023年 | フランス | カラー | シネマスコープ | 5.1ch | 114分 | 英語・スペイン語 | PG12

日本語字幕：横井和子 | 原題：DOGMAN

配給：クロックワークス

公式HP：<https://klockworx-v.com/dogman/>

© Photo: Shanna Besson - 2023

-LBP - EuropaCorp - TF1 Films Production - All Rights Reserved.

## 『リトル・リチャード：アイ・アム・エヴリシング』

2024年3月1日（金）シネマート新宿ほか全国順次公開

製作・監督：リサ・コルテス（『フレッシュ』製作総指揮）

出演：リトル・リチャード、ミック・ジャガー、トム・ジョーンズ、ナイル・ロジャーズ、ノーナ・ヘンドリックス、ビリー・ポーター、ジョン・ウォータース

2023年 / アメリカ / 101分 / カラー / ビスタ / 5.1ch / DCP / 原題：LITTLE RICHARD: I AM EVERYTHING

字幕：堀上香 / 字幕監修：ピーター・バラカン

提供・配給：キングレコード little-richard.com

配給：キングレコード

© 2023 Cable News Network, Inc. A Warner Bros.

Discovery Company All Rights Reserved

公式HP：<https://little-richard.com>



## 木村奈保子

作家、映画評論家、映像制作者、映画音楽コンサートプロデューサー

NAHOKパッケージデザイナー、ヒーローインターナショナル株式会社代表取締役

[www.kimuranahoko.com](http://www.kimuranahoko.com)

## NAHOK Information



木村奈保子さんがプロデュースする"NAHOK"は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「温度調整」

「衝撃吸収」機能の楽器ケースで、世界第一線の演奏家から愛好家まで広く愛用されています。

Made in Japan / Fabric from Germany

問合せ&詳細はNAHOK公式サイトへ

## PRODUCTS

## 2コンパートメント、フルートブリーフ

新色、黒/ダークレッド本革ネームが完成しました！

2コンパート ブリーフケース「Deniro/wf」は、ハードケースを収納する側とかばんとして使用する側を完全に仕切り、2つのコンパートメントで作られたNAHOKブリーフケースの決定版です。

まずカバン側には、日常の小物が仕分けして入れられます。ケース側には太い固定ベルトにより、フルートのハードケースがそれぞれ固定できる構成になっています。

フルートの場合、C管・H管ハードケースとピッコロを並べて固定ベルトで留められます。



## 「Deniro/wf」 for flute players

①フルートC管、あるいはH管をピッコロとともに固定ベルトで留め譜面台とともに、並べて収納しています。

②フルート1本だけでも固定ベルトが使用できます。

\*内装は、ケース側に起毛グレー（あるいはベージュ）、カバン側にナイロンを使用。色はかばんの外装により、あるいは生産時期によっても異なります。